

「京都てんとう虫マラソン大会」趣旨

私たち実行委員会はこのように考えています

**[この大会を通して、障がいのある人とない人が出会い、
それぞれの立場や環境を理解し、交流を深める場をつくりたいと考えます]**

日頃、街かどやバス停で障がいのある人と出会ったとき、“ちょっと手助けをしてあげられたら”と思っても、少し恥ずかしかったり気構えてしまってなかなかできなかった、といった経験はありませんか。

このように私たちの日常生活の中では、障がいのある人とない人が積極的にふれ合う機会がなかなかありません。このマラソン大会で伴走したりされたり、大会準備を一緒にすすめるなど楽しく汗を流すことによって、もっと身近に接することができるようになればたいへん嬉しいことです。

障がいのある人の中には、マラソンを趣味にしている人がたくさんいます。しかし、例えば視覚障がいのある人の場合、一緒に走ってもらう伴走者がなかなか身近にいません。一緒に走れる仲間をより多くもつことで、走る機会がどんどん増えます。この大会で知り合った人同士で、共に走る仲間の輪が広がることを願っています。

**[この大会は、健康のために何かスポーツをしたいと考えても
なかなか始められない、という方にもおすすめします]**

このマラソン大会は、速さを競ったり記録に挑戦したりするものではありません。お年寄りも若者も家族連れも障がいのある人も、みんな一緒になって、広々としたコースをそれぞれのペースで走ってみましょう。

これをきっかけに、運動不足を気にしている人もジョギングを始めることができるのではないかと思います。

**[この大会は、特定の団体や企業が催すのではなく、一人ひとりの小さな力を
一つにまとめて創り上げることが大切だと考えています]**

最初この大会が企画されたのは、視覚障がいのある人とその仲間がホノルルマラソンを完走した後の発案からです。障がいのある人とない人が同じコースで一緒に走る感動をより多くの人達と共有したいという願いが、周囲の多くの人々に広がった結果、様々な団体や個人が賛同して実行委員会をつくって取り組んでいます。

私たちは、一人ひとりもっている力で“なにか役に立てることはないか”という思いを一つにまとめて、この大会を創りあげたいと考えています。

**[より多くの皆さんがこの大会に参加されて、
新たな出会いにより世界が広がることを私たちは願っています]**